

# 箱根組ニュース

第380号 2025年 1月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

**焚火芋煮会に13人！ 飯能河原までの入間川沿いが美しかった。9人は天覧山に登る。**

12月15日(日)、日本晴れ。風のない穏やかな飯能河原で焚火芋煮会を実施しました。

西武池袋駅9時3分発の急行飯能駅に乗車。電車に乗り込んだのは、川名夫妻+真鍋(しめじ、舞茸、こんにゃく)、星野「幸」(長ネギ)、佐藤(カレールー・下仁田ネギ)、坂巻(麵つゆ)、井上夫妻(ドリッポコヒー)、奥村(うどん)、星野(ごぼう)、和田(里芋)、布施(银杏)、戸丸(サツマイモ)の13人。カッコン内は分担で持参した食材。

飯能駅9時51分着。南口を出た公衆トイレ前で身支度。井上さんのストレッチで体をほぐす。

10時15分、南に向かって歩き出す。大通りの左側を歩いてしたが次の信号で右の歩道に移動して進む。

10時22分、飯能大橋の手前で右の河原へ降りてゆく。少し下ってゆくと河原が見えてくる。川沿いの民家の方と朝の挨拶をかわす。河原の向こうは立派な林が連なっている。まだ名残の紅葉の鮮

やかさが残っている。

川の右側、舗装の遊歩道を進んでゆく。途中木の枝にとっても鮮やかな青い色の鳥が二羽ほど見えたが、少し遠くてはっきり確認は出来なかったが、きつとカワセミに違いない。雲一つない青空にきりつと澄んだ空気が気持ちいい。

10時29分、遊歩道は行き止まりになる。左に川を渡る割と大きな四角いコンクリートのブロックが飛び石状に並んでいる。これを渡って反対側つまり右岸に着く。

ここからは河川敷の遊歩道だが足元の岩や砂、砂利に気をつけて進んでゆく。川面は雨の無いためかとても穏やかでまるで流れていないように見える。しかし流れが狭くなるところではしっかりと流れが見える。水はとても澄んでいてきれいだ。

川の雰囲気はちよつと養老溪谷にも似ている。砂浜の広いところは川の近くまで寄って歩くと楽しい。子供に返ったように小石で水切りをする人も数人。



10時39分、また目の前にコンクリートの飛び石が現れ、これを渡って右側の岸に渡り返す。

皆で付近に落ちている木の枝を焚火用に杖のようにして持つて行く。佐藤さんがとても太い枝(幹)を持ったので細いものに変えていただいた。あの太いものがあつたら夕方までには燃え尽きなかつたらう。細い枝をたくさんもつていくひともいた。

10時45分、赤い橋が前方上に見えるてきた。以前は飯能駅北口からこの橋を渡って河原に降りていたが、今日は初めてこの橋をくぐってゆく。

10時50分頃、河原手前の公衆トイレ前に到着。小さな流れを越えて焚火可能のエリアに入ってゆく。この小川では小さな魚(多分メダカ?)を見ることが出来る。クレソンが自生している。周囲

収支	
繰越	21415 円
飯能残金	140 円
支出	
ニュース/HP 作成	500 円
当日プリント代	130 円
現在高	20925 円

の草はまだ霜に覆われている。かなり冷え込んだようだ。小川の日陰は凍っていた。少し南側の岩の南側を会場に決めて荷物を下ろす。一息入れてか

らもう少し歩きたい9名は川名さんのリードで天覧山に向かう。(天覧山は「愛宕山」と呼ばれていたが、徳川5代將軍綱吉の時に羅漢像を寄進されたことから「羅漢山」となり、その後明治天皇が軍の演習を視察したことから「天覧山」となった。)

真鍋、和田、坂巻、戸丸の4名は焚火と芋煮の準備。和田さんは川の西側のバーベキューのお店に薪を買いに、坂巻、真鍋は拾った枝の太いものをのこぎりで短く切る。これは意外に面白いように戻ってきた和田さんもそれに加わる。

大鍋はガスコンロの上に置いてお湯を加えてこんやくとごぼうを投入して火にかける。火が通ったら他の材料を入れるがしばらく待機。

焚火台の網の上には細かい枝を並べて着火。一通り焚火が順調になって火が収まって熾火状態になった上に濡れた紙とアルミホイルに包んだサツマイモを載せそのうえで大

2025年の幕開きは1月19日(日)  
陣馬山(855m)です。

レギュラーコース 約4時間  
(上り1時間30分、下り2時間30分)

高尾駅北口からバスで陣馬高原下まで。バス停から陣馬街道の車道を歩き、途中から左の山道で山頂を目指します。下山は奈良子峠から明王峠を経て相模湖駅に向かいます。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、カップ、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 1月17日(金)

集合 1月19日(日)  
京王線新宿駅 6:50発  
特急京王八王子行き(前から3両目)  
北野 7:29着(乗り換え) 7:30発  
途中駅発  
笹塚 6:55 明大前 6:57 千歳烏山 7:02  
高尾 7:40着(バス乗り換え)  
高尾駅北口 8:10発 陣馬高原下行  
陣馬高原下 8:47着  
交通費 新宿~高尾 409円  
高尾駅北口~陣馬高原下 640円  
相模湖~新宿(京王線利用)608円

●お申し込み・お問い合わせ  
Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066  
携帯メール: satorutomaru@gmail.com  
メール: tomarusatoru@hotmail.com  
箱根組ホームページ  
https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum



きな焚火を作る。これで火が順調なら20分ほどで焼き芋は出来上がる。  
焚火の前で川名家の差し入れのレミーマルタンを開ける。コルクが風化していたが味は抜群。焼き芋は最初に焼けた7本のうち4本を四人で頂く。甘みがブルーランデーにも会う。  
さて、1時間ほどで天覧山往復組が帰ってくる。山に行ってきた充実感がなんとなくこちらにも伝わる。  
第2弾の焼き芋6人分を追加で焼く。



煮でお腹  
き芋と芋  
がり皆で頂く。甘みが際立っていた。焼  
ん持参の下仁田ネギの焚火焼も出来上  
芋煮の  
残りを入  
どんをカ  
れてカレ  
ールを  
入れたら  
カレの出  
どんの出  
来上がり。



大鍋に残りの材料を加えて煮込み、井上シェフに味付けをお願いする。芋煮も大成功でも美味しく出来上がった。佐藤さん

やはり味変で美味しい。  
食後、布施さんのビンゴゲームが開始される。小さな回転するゲーム機まで登場する。景品まで準備してくれて無事に終了。  
そのあとは4人揃っているシュガーズの焚火前ステージ。「涙くんさよなら」「上を向いて歩こう」とバーバーショッポの計4曲を歌った。ちよっとハモったかも。  
火の始末をして、しっかりかたずけて撤収。  
3時40分頃、夕日の照明で記念撮影。シュガーズ+ワンの五人を除いて駅に直行。五人は川沿いに同じ道に戻り。仕上げに日高屋でビールを頂いて解散。



